

## 山梨県国際交流協会主催のカンボジア・デーのレポート

### 1 はじめに

カンボジアというと皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。アンコールワットで有名なこの国は、シンガポール、インドネシアやマレーシアなど東南アジア諸国が経済的発展を遂げる中で、内戦の影響もあり、まだまだその経済的発展が困難な状況にあります。特に内戦の中で数多くの地雷が埋められていることが、人々の生活を立て直す上で大きな阻害要因となっています。

10月24日に「カンボジア・デー」が、山梨県立国際交流センターで開催され、カンボジアを知るための取組が様々な切り口で提供されました。

### 2 カンボジア・デー（カンボジアの風を感じて）の概要

一つ目は、地雷除去のための専用の重機を開発した山梨日立建機（株）社長の雨宮清氏の講演と、カンボジアにおける地雷の除去後の農業支援を行う特定非営利活動法人「豊かな大地」やカンボジアで地雷除去やその後の農業復興などに取り組むカンボジアの州の農業関係者やNPO関係者などカンボジアからの来訪者を交えてのディスカッションが行われました。

二つ目に、カンボジア難民として来日し執筆・講演活動を行う久郷ポンナレットさんによるカンボジア舞踊とトーク、さらにはカンボジアでも活動を行う歌手岩崎けんいち氏によるトーク&ライブが行われ、多くの人がカンボジアのことを知るとともに楽しめるイベントとなりました。

### 3 山梨日立建機（株）社長の雨宮清氏による講演の概要

カンボジアには、内戦時に多くの地雷が埋められ、内戦終結後も5万人もの方が被害を受けています。対人地雷は致命的な殺傷力を持たないが人々の手足を奪い、多くの障害者を生み出しています。また、多くの土地に地雷が埋められているために農地として利用することもままならず、復興の妨げとなっていました。

雨宮清氏は、1994年に商用で訪れたカンボジアで地雷によって手足を失った人々の姿を目にし、地雷除去機の開発を独力で進めました。

カンボジアにおいては、地雷除去は、カンボジア地雷除去センター（CMAC）により行われていますが、危険と隣り合わせの手作業により行われており、埋設されている地雷を除去するためには千年以上かかるとも言われています。そこで雨宮社長は、建機を活用し、地雷を爆発させてしまうことにより、除去する機械を開発しました。爆発温度や耐久性など、その開発は苦勞の連続でしたが、1998年の供給開始以来、現在までに、カンボジア、アフガニスタン、ニカラグアなど世界8カ国で75台が稼働するまでになりました。



雨宮清氏と地雷除去機

講演では、カンボジアの地雷地帯の状況や被害の実態を写真やVTRなどもまじえながら説明があり、地雷の恐ろしさをよく理解していない子供たちが被害にあうことも多いことから、開発した機械で地雷の除去作業を実際にみせて、その恐ろしさを理解させる取組なども現地ではおこなわれていました。

また、雨宮氏は、こうした現地の子供たちと日本の子供たちとの国際交流にも力を入れており、日本の子供たちの手紙や絵画などを持参し、地雷原に暮らす子供たちを励ますとともに、逆に地雷原の中で懸命に生きる子供たちの姿を日本の子供たちに伝える活動も行っています。

日本がもつモノづくりの技術により国際貢献に役立つ機械を開発し、これを国際協力の機関等に納入することにより、ビジネスとして成り立たせた雨宮氏の取組は、持続可能な取組で

あり、日本の国際協力の1つの姿を感じさせるものでありました。

#### 4 NPO法人豊かな大地の事業紹介

##### 及びカンボジアからの来訪者を交えてのディスカッション

「豊かな大地」は、カンボジアのバットンバン州で地雷除去が終わった村・土地の農業環境整備や井戸の設置、学校建設などを行い、地雷不発弾による影響を受けている人々の生活再建支援のための活動を行っています。

また、今回の事業では、カンボジアからカンボジア地雷除去センターの地域開発マネージャー、豊かな大地のカンボジア事務所のスタッフ、バットンバン州の農業開発担当者を招待しており、それぞれの立場からその実情及び日本に期待することなどについてディスカッションが行われました。

#### 5 久郷ポンナレットさんによるカンボジア舞踊とトーク

久郷ポンナレットさんは、カンボジアのプノンペンで生まれましたが、1975年のポルポト政権下で両親ときょうだい4人を失い、本人も過酷な強制労働に従事させられるという経験をしています。その後、留学していた姉を頼って難民として来日し、日本の小学校、中学校を卒業し、日本人男性と結婚し、講演活動や執筆活動を続けています。今回は、カンボジア舞踊を披露するとともに、トークでは、質問に答える形で、また、カンボジアからの来訪者とのやりとりを交えて、カンボジアの現状の理解が進むような機会となりました。

#### 6 その他のイベント

当日は、2004年以降毎年カンボジアを訪れ、音楽活動をしている岩崎けんいち氏によるトーク&ライブが行われ、カンボジア料理のほか、各国の料理を楽しむ「ワールド・グルメ」やフェアトレードブースなども設けられました。

また、カンボジアからの来訪者は、このイベントの後、小学校の子供たちとの交流会なども行われました。